

東京

東京編集部

〒100-8077

東京都千代田区
大手町1-7-2

☎ 03-3275-8747

FAX 03-3275-8975

shuto@sankei-net.co.jp

広告 042-525-4138

購読申し込み

0120-81-2950

配達・集金

0120-34-4646

紙面・記事

03-3275-8864

Web

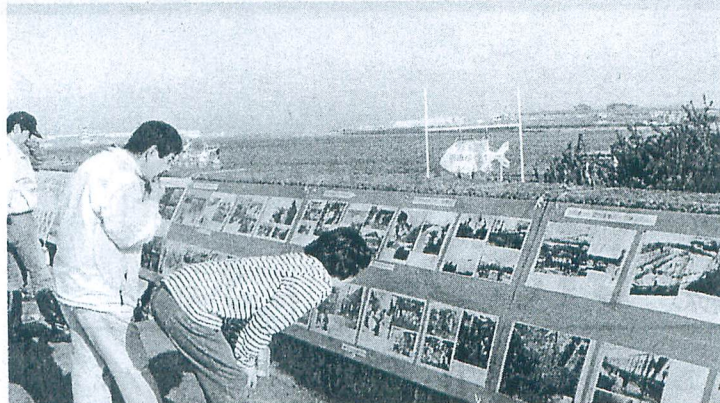
http://sankei.jp.msn.com/region/region.html

「疾風」はやて、シッパウと読めば普通の字音読み。その漢語「疾風」をわが国の言葉で読んだ熟字訓。「早言」**言葉の雑学**と書くこともあるが、この「疾風」はやて、シッパウと読めば普通の字音読み。その漢語「疾風」をわが国の言葉で読んだ熟字訓。「早言」

言葉の雑学の「早言」はやて、シッパウと読めば普通の字音読み。その漢語「疾風」をわが国の言葉で読んだ熟字訓。「早言」

「早言」はやて、シッパウと読めば普通の字音読み。その漢語「疾風」をわが国の言葉で読んだ熟字訓。「早言」

多摩川清掃追った青空写真展



1年前まで約100隻の不法係留船があった大田区羽田の多摩川左岸で河川敷清掃活動が続け、不法係留船撤去を訴えている団体が、かつての多摩川や羽田地区の様子を写真パネルで紹介している。写真場所は活動の中心となった堤防。数年前まで自動車の不法投棄や違法駐車が行き、堤防下は廃棄物の山だったが、一掃され、住民らは写真を見ながら変わる多摩川の姿を追っている。

平成9年12月以降の写真のカラーコピーが張られている。子供が遊んでいた終戦直後とは一変、不法係留船とごみで埋め尽くされた河川敷の雑然とした風景だ。同会は国などに不法係留船の撤去を求めてきた。行政代執行で多くの船が撤去されたのは昨年2月だ。

パネルは堤防に張り付けられ、そのため、水を入れたペットボトルを重りにして堤防にかける。朝設置し夕方撤去。平日はパネル4枚程度、参加する会員が多い日曜などは10枚展示する。

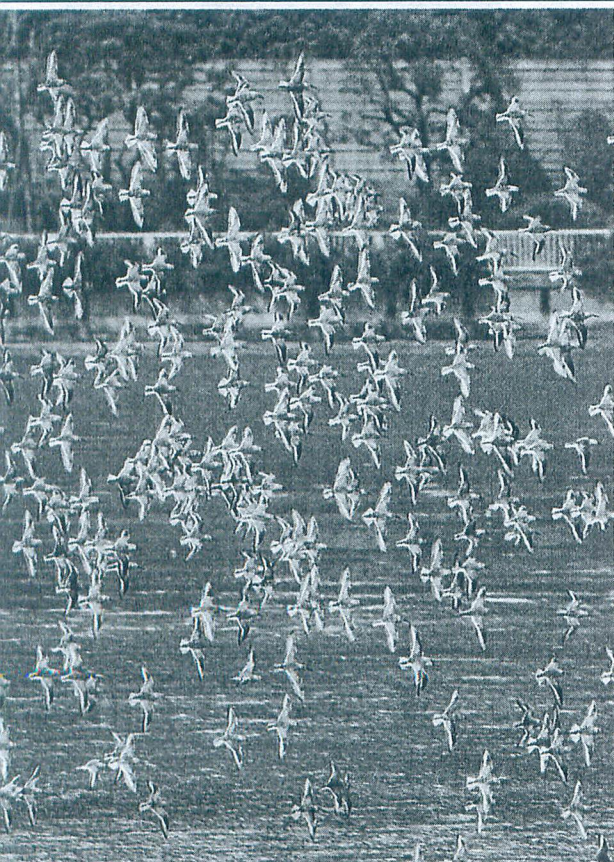
同会発起人の吉田清光さん(56)は「陳情を続けて行政代執行にながった。多摩川をきれいにするために税金を使ったことは感謝している。われわれがやったことが良かったか判断してもらいたい」として、青空写真展を始めた。

サクランボに園児おおはしやぎ



練馬区大泉町の区立北大泉幼稚園(関美津子園長)で、園庭のサクランボの木に真っ赤な実が熟し、園児68人が収穫を楽しんだ。写真。同園の園庭には3本のサクランボの木があり、実が熟すこの時期に園児たちが毎年収穫している。今年は、昨年と比べ実の数は少ないが、甘くて大きい粒が実ったという。

園児たちは「いっぱいになっていよ」「宝石みたい」と歓声をあげながらごいっばいにサクランボの実をつみ取り、昼食時にみんなでほおばった。



のハマシギ

には2000羽の群れにも達する。以前に比べると、その数は減少しているという。今が旅立ちのころ。夏の終わりに、干潟での再会を楽しみにしよう。

、東京湾に残さの干潟で周囲は